



年 組 名前

道新で ワークシート

卓上四季

これで春を実感するという方も多いのではないか。あす今シーズンのプロ野球が幕を開ける。皮切りの舞台となるのは北広島市の新球場「エスコンフィールド北海道」

である。他球場より一足早く北海道日本ハムファイターズが登場する▼本番を前にオープン戦の様子取材した。スタンドに立つと想像以上に視野が広い。プレーする選手の近さや天然芝の青さも際立つ。観客はみな晴れやかな表情だった▼ヒットや堅守のたびに歓声が湧く。選手の名を呼ぶ。応援歌を口にする。コロナ禍で長らく制限されたことばかりだ。どれほど心待ちにしてきたことか。ダイヤモンド上の選手たちも張り切っているようだった▼野球をこよなく愛した詩人の長田弘さんがエッセー「球場」で記している。この場所には、もう失ったと思っているほとんどのものがまだそっくり残っているのだ、と▼△開かれた空間。きれいな興奮。すべては決まってしまっているのではなく、一瞬のちにはどんな逆転だってありうるという期待▽△たとえ今日敗けたって、明日があるのだ▽。なるほど、どんな時も前向きな楽観主義こそ似つかわしいかもしれない▼後楽園球場、東京ドーム、海峡を渡って札幌ドーム。歴代の本拠地では数々の名勝負が展開されてきた。まささらな舞台で迎える新時代、まずは東北楽天ゴールデンイーグルスを相手にどんなドラマが始まるか。 2023.3.29

2023年3月29日（水）朝刊 全道版 1ページ（記事は再編集しています）

- ① 「これ」とは何のことですか。
- ② 長田弘さんのエッセーにある「たとえ今日敗けたって、明日があるのだ」という考え方を、筆者はどのように捉えていますか。本文中から8字で書き抜きなさい。